授業づくり研修講座　実践レポート

座間中学校　　　氏名　勝又悠太

第2学年　社会科歴史分野

実践のポイント（工夫）

江戸幕府3代目将軍である徳川家光が実施した参勤交代の制度が、江戸時代の人々にとって良い政策であったかあるいは、悪い政策であったかを学習内容を基に判断し、自分の考えを論理的に表現する。より具体的な根拠を持って政策評価を行ってもらうために、グループワークを通して政策の良い点と悪い点を挙げさせることで、さまざまな視点から判断してもらうことで身分による見方の違いや江戸時代という日本社会から見た政策の意義について考えることとした。

実施内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意点・評価 |
| 導入 | ・江戸時代の幕藩体制のしくみと、武士が支配者層であったことを振り返る。  ・大名行列の絵画資料から、参勤交代の目的について考える。  ○「なぜ、大名は行列をつくって江戸まで向かったのだろう。」 |  |
| 展開 | 参勤交代は江戸時代の人々にとって良い政策であったのか？  ・参勤交代の内容と目的を確認する。  政策内容では大名の負担の大きさについて、政策目的では参勤交代の江戸幕府や日本社会への影響を知ることで、政策を多面的に捉える。  ・参勤交代の政策評価を行う。  個人で政策の良い点、悪い点を挙げ政策評価を行う。その後グループになってほかの人の意見を共有する。 | 領地から江戸までの移動手段や移動費の大変さ、妻子が江戸に人質とされていたことなどから、生徒にも大名の負担の大きさが伝わるようにする。  はじめの政策評価では良し悪しの判断のみをし、グループで自分たちが判断した理由を共有することで、他の人の意見を聞き新たな視点を持ったり、説明することで自分の考えを深めたりする活動とする。 |
| まとめ | ・グループワークを通して、改めて参勤交代について、具体的な理由を踏まえて政策評価を行う。 | グループワークで考え、共有した政策の良い点、悪い点を基に参勤交代が誰にとって良い政策か悪い政策かを判断し、論理的な理由をもって説明することを促す。  思参勤交代の政策内容・目的を基に江戸時代の人々あるいは社会にとって良い政策か悪い政策かを判断し、論理的に表現することができる。 |